

ちよん



女性協議会

東北地連

女性協定期大会 東北版女性のつどい

11月23日(土)〜24日(日)の日程で「東北地連女性協議会第四四回定期大会」と「第六回東北地連女性のつどい」を開催しました。

初日の東北版女性のつどいでは、東北での開催という点もあり、内容も震災に特化したことで男性も参加しやすくなり、全国の組合員に東北の現状を伝える場として有効であったことなど、活発な意見交換が行われました。

また二日目の定期大会では、各単組から冬の一時金の闘争経過など報告がありました。職場環境については、育休や育児時短を積極的に活用できない現状が

●女性協 URL
http://www.minpororen.jp/women/index.html

ら、代休や有給も含めて出ただけ権利を行使し制度自体を広めていく必要があることなどの意見が出されました。

このほか、「パワハラや不当な評価制度にどう対応していくか」「団交の席で録音は可能か?」「面接とかも録音すべき?」など活発な意見交換がなされました。

東北地区はまだまだ復旧の途中ですが、女性一人一人がいきいきと働ける職場環境づくりを目指していきたいと思えます。

最後に、この大会をもって事務局が新メンバーになりましたので報告します。

〈議長〉宇野章子 (福島放送労組)
〈副議長〉藤原瑠美 (福島中央テレビ労組)
〈事務局長〉佐久間真理 (福島中央テレビ労組)

中四国地連 女性協定期大会 来年の「女性のつどい」へ

11月30日(土)広島市で「中四国地連女性協議会定期大会」が開かれ、中四国女性協担当の広島四局の労組、西日本放送労組、南海放送労組から一三人、そして中四国地連から三人のあわせて一六人が集まりました。

が、マネージャー職以上は三ヶ月以内に消化できないければ清算なしなど、厳しい条件をつきつけられている」といった内容です。

このほかの意見では、「時間年休がとれるようになって、引き続き小学3年生までの育児時短を求めている」「女性アナの採用が契約になってきている」「東京などへの転勤がない代わりに年収を下げる」といった

誰でも情報が発信できる時代。今後の地上波テレビのあり方など「ニューメディア」という視点にも関心が高いのではという意見もありました。

意見交換では、勤務制度についての報告が相次ぎました。広島局からは、代休消化に関する問題として「代休消化がすすめられている。過去三年の代休は、清算で一括清算」「代休消化ができない場合は清算す

島市の平和公園内にある国際会議場を会場に「全国女性性のつどい」が開催されました。「平和」「女性」を軸に、講演者の案、具体的な中味について話し合いました。

この日、「全国女性性のつどい・実行委員会」を立ち上げました。全国から参加いただき皆様有意義な時間を過ごしていただけるよう、連携し



東北地連女性のつどい



女性が安心して働ける職場をめざして

るが、マネージャー職以上は三ヶ月以内に消化できないければ清算なしなど、厳しい条件をつきつけられている」といった内容です。

このほかの意見では、「時間年休がとれるようになって、引き続き小学3年生までの育児時短を求めている」「女性アナの採用が契約になってきている」「東京などへの転勤がない代わりに年収を下げる」といった

誰でも情報が発信できる時代。今後の地上波テレビのあり方など「ニューメディア」という視点にも関心が高いのではという意見もありました。

島市の平和公園内にある国際会議場を会場に「全国女性性のつどい」が開催されました。「平和」「女性」を軸に、講演者の案、具体的な中味について話し合いました。

この日、「全国女性性のつどい・実行委員会」を立ち上げました。全国から参加いただき皆様有意義な時間を過ごしていただけるよう、連携し

て機運を盛り上げていくことを確認しました。(中四国地連女性協・前議長 中国放送労組・若林弘美)